

～ 埼玉県指定文化財の紹介 ～

難波田氏館跡（難波田城跡）

指 定	県
種 別	記念物
種 類	旧跡
員 数	1
指定日	昭和36年（1961）9月1日
所在地	富士見市大字下南畑568-1



難波田城公園

【概説】

難波田氏館跡は、中世に富士見市南畑の地を本拠として活躍した難波田氏の城館跡です。武蔵七党のひとつである村山党の金子氏を祖とし、鎌倉時代に難波田の地を与えられ、地名をとって難波田氏と名乗るようになったのが始まりです。以後、戦国時代には扇谷上杉氏の重臣として活躍しています。

館跡は標高6mの荒川低地の自然堤防上に築かれ、小さな館から、戦国時代に3重の堀を巡らした平城へと改修されました。戦国時代の後半に北条氏の支城となり、天正18年（1590）に同氏の滅亡で廃城となっています。江戸時代には、十玉院（じゅうぎょくいん）という修験の寺院がおかれ、明治5年（1872）の修験道廃止まで続いています。平成9年（1997）から平成11年（1999）の3か年で整備工事が行われ、平成12年（2000）に「難波田城公園」として開園しました。